

学校便り

川崎市立四谷小学校

No. 8 令和6（2024）年10月31日

- ㊦く考え工夫する子
- ㊧よく明るく元気な子
- ㊨さしく思いやりのある子

自然を愛でる心を育む

校長 川村 雅昭

10月も後半になって朝晩冷え込む日が増えてきました。子どもたちが大好きな産業道路沿いの“森”の木々の葉も徐々に赤や黄色に色づき始め、秋の深まりを感じる今日この頃です。

そんな中、10月25日に「スポーツフェスティバル」が開催されました。昨今、5月に入ると暑さの厳しい日が増えてきていること、また、学年・学級集団の高まりが見られるこの時期の開催が、よりよい教育活動につながるのではないかと考え、今年度より開催時期を春から秋へと変更いたしました。当日は、朝から雨が心配な曇り空の天気でしたが、子どもたちのやりたい思いが天に通じたのか、最後まで雨に降られることなく、全ての競技・演技を予定通り行うことができました。今年のスポフェスのスローガン「みんな協力 笑顔でかがやけ 元気100% がんばるぞ」の言葉通り、子どもたちは、友達と力を合わせ協力しながら、最後まであきらめることなく全力で競技や演技に取り組んでいました。その時の子どもたちの表情は、キラキラ輝いていました。当日は、たくさんの保護者、地域の皆様方にご来校いただき、子どもたちにたくさんの声援と温かい励ましの言葉をかけていただきました。子どもたちには、大きな励みになったことと思います。ありがとうございました。

さて、前期終了前の2週間は、四谷計画隊の子どもたちが中心となって朝のあいさつ運動が行われました。委員会の子どもたちと共に、1年生から6年生の子どもたちも日替わりで東門、西門に立って、登校してくるお友達に元気に朝のあいさつをしていました。

このあいさつ運動と併せて、生き物植物守り隊の委員が「緑の羽募金」に取り組みました。「緑の羽募金」は、集めた募金を使って、身近な地域の公園や学校はもとより、国内外の森林等の緑を増やすことを目的として行われているもので、本校でも多くの子どもたちが協力してくれています。

緑の大切さを伝える取組としては、川崎市制100周年の取組の一環として、「第41回全国都市緑化かわさきフェア」が開催されています。このイベントは、富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3会場をコア会場として、10月19日から11月17日の秋開催と3月22日から4月13日の春開催の2期に渡って開催される大規模なイベントです。それぞれの会場を彩っている花々の一部は、川崎市内の小学生が学校で育てた花々です。本校でも、学校ボランティアとして敷地内の環境美化にお力をお貸し頂いている地域にお住まいの長澤さんと加瀬さんの協力を受け、子どもたちが百日草を育て提供しました。

学校では、生活科や理科の学習の中で、アサガオやホウセンカ、実のなる野菜等を育てています。これらの栽培活動を通して、また、今回の緑化フェアや緑の羽募金等のイベントをきっかけとして、自然を守り大切に育て、季節ごとに咲く草花を愛おしむ、そんな心豊かな子を育てていけたらと思います。